

令和4年2月18日

# 交通事故概況

令和4年1月中計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課



# 北海道の交通事故概況(1月中計上数(確定数))

## 1 令和4年1月中の交通事故発生状況

区分\内容	1月中	前年比
発生件数(件)	749	27
死者数(人)	7	-1
傷者数(人)	883	52

[過去10年、1月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	過去平均		R4年
											10か年	5か年	
1月中死者	11	8	9	8	9	6	17	5	7	8	9	9	7
年間死者	200	184	169	177	158	148	141	152	144	120	159	141	—

順位	1		3	4	5
都道府県名	愛知県	神奈川県	東京都	千葉県	北海道
死者数	13	13	10	9	7

## 2 交通死亡事故の発生状況

### (1) 1月中の死亡事故(死者7人)

#### ○ 事故類型別:

- ・正面衝突が4人57.1%(操作不適が4人100.0%)
- ・車両単独が2人28.6%(うち最高速渡、安全運転その他が各々1人50.0%)

#### ○ 道路別:

- ・国道が4人57.1%(正面衝突が4人100.0%)
- ・道道、市町村道、高速道路が各々1人14.3%

#### ○ 地形・道路形状別:

- ・非市街地直線が5人71.4%(うち正面衝突が3人60.0%)
- ・市街地交差点、非市街地カーブが各々1人(14.3%)

#### ○ 発生時間別:

- ・10～12時が4人57.1%(うち正面衝突が3人75.0%)
- ・8～10時、14～16時、18～20時が各々1人(14.3%)

#### ○ 第一当事者年齢別:

- ・高齢運転者による死者が3人42.9%(うち正面衝突が2人66.7%)
- ・40歳代運転者による死者が2人28.6%(うち正面衝突、車両単独が各々1人50.0%)

#### ○ 第一当事者違反別:

- ・操作不適が4人57.1%(正面衝突が4人100.0%)
- ・最高速渡、歩行者妨害、安全運転その他が各々1人14.3%

#### ○ 死者年齢別:

- ・高齢者の死者が4人57.1%(うち正面衝突が2人50.0%)
- ・40歳代の死者が2人28.6%(うち正面衝突、車両単独が各々1人50.0%)

#### ○ シートベルト非着用者:

自動車乗車中の死者5人中、シートベルト非着用者は1人(20.0%)であり、この者(運転席に乗車)はシートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

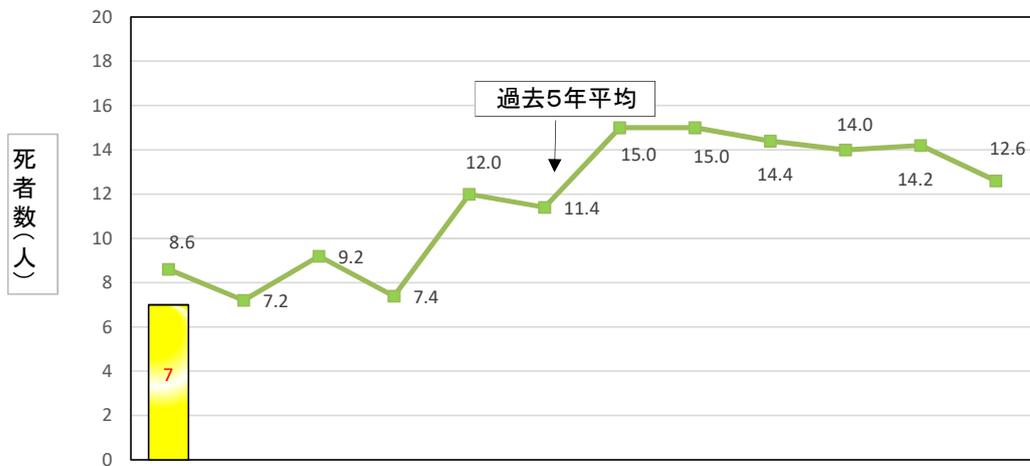
(2) 方面別発生状況

1月中の死者は札幌方面、旭川方面が各々3人(42.9%)で函館方面が1人(14.2%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
1 月 中	全 道	749	27	7	-1	883	52
	札 幌 方 面	560	51	3	-1	656	68
	函 館 方 面	42	-8	1	-1	53	
	旭 川 方 面	67	-5	3	3	86	-4
	釧 路 方 面	55	-20		-2	58	-24
	北 見 方 面	25	9			30	12

(3) 月別発生状況の推移

1月中の死者は7人で過去5年平均8.6人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令 和 4 年	7												7
年間累計	7												
過去5年平均	8.6	7.2	9.2	7.4	12.0	11.4	15.0	15.0	14.4	14.0	14.2	12.6	141.0
累計平均	8.6	15.8	25.0	32.4	44.4	55.8	70.8	85.8	100.2	114.2	128.4	141.0	

(4) 都道府県別死者

1月中は愛知県と神奈川県が各々13人で最も多く、次いで東京都が10人、千葉県が9人と続き、5番目の北海道は7人となっている。

区分\都道府県	愛知	神奈川	東京	千葉	三重	岡山	茨城	北海道	兵庫	埼玉	全国
1月中死者数	13	13	10	9	7	7	7	7	7	7	183
ワースト順位	1	1	3	4	5	5	5	5	5	5	-
前年比	6	2	0	0	5	1	0	-1	-2	-5	-15
増減率(%)	85.7	18.2	0.0	0.0	250.0	16.7	0.0	-12.5	-22.2	-41.7	-7.6

### 3 死亡事故の特徴

#### (1) 道路別

国道が4人(57.1%)で最も多く、次いで道道、市町村道、高速道路が各々1人(14.3%)となっている。

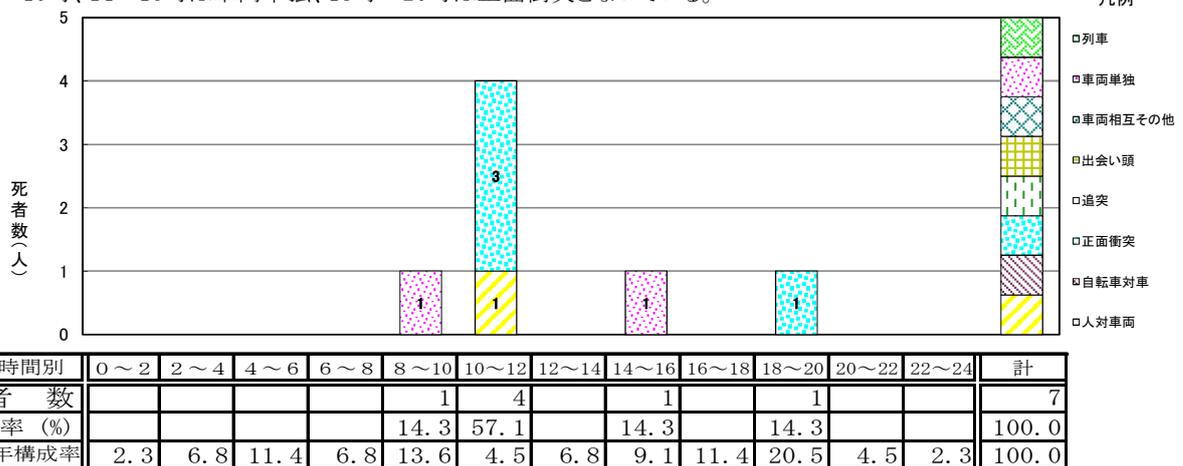
- ・ 国道は非市街地直線、3人(75.0%)、非市街地カーブが1人(25.0%)
- ・ 道道は市街地交差点、市町村道、高速道路は非市街地直線となっている。



#### (2) 時間別

10～12時が4人(57.1%)で最も多く、次いで8～10時、14～16時、18～20時が各々1人(14.3%)となっている。

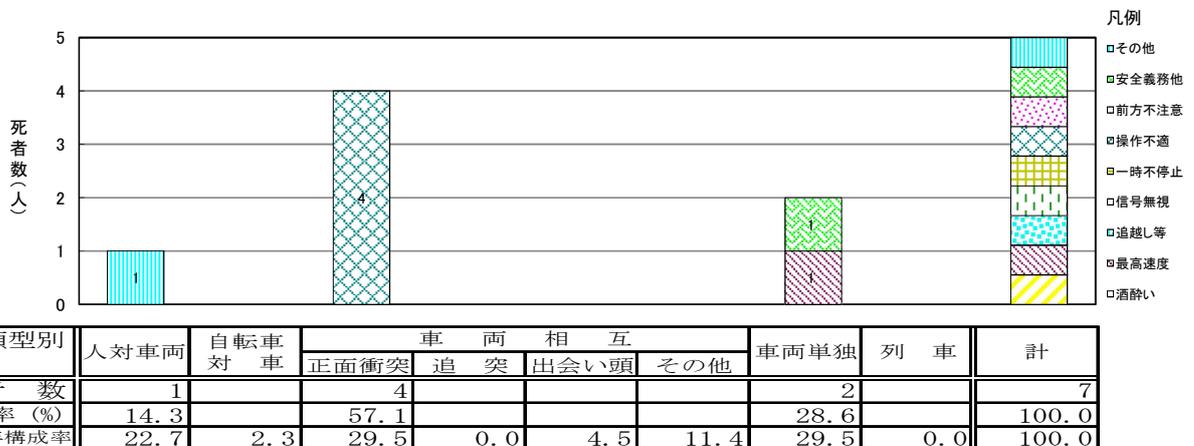
- ・ 12～14時は正面衝突が3名(75.0%)、人対車両が1人(25.0%)
- ・ 8～10時、14～16時は車両単独、18時～20時は正面衝突となっている。



#### (3) 事故類型別

正面衝突が4人(57.1%)、車両単独が2人(28.6%)となっている。

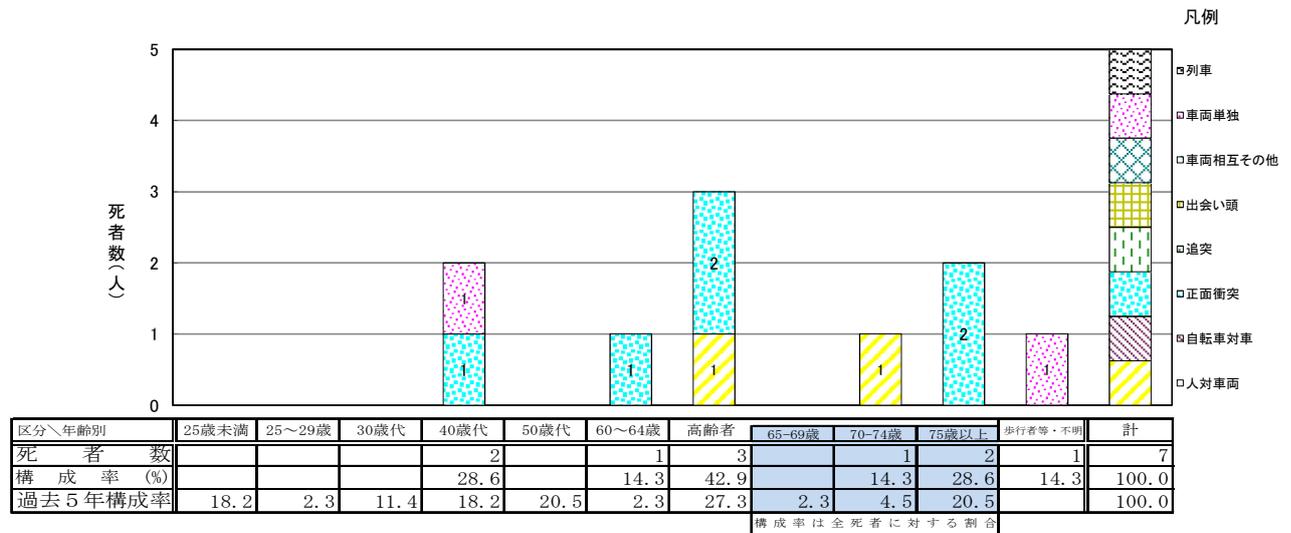
- ・ 正面衝突は、操作不適が4人(100.0%)
- ・ 車両単独は、最高速度、安全運転その他が各々1人(50.0%)



(4) 第一当事者の年齢層別

高齢者の運転者によるものが3人(42.9%)、40歳代の運転者が2人(28.6%)となっている。

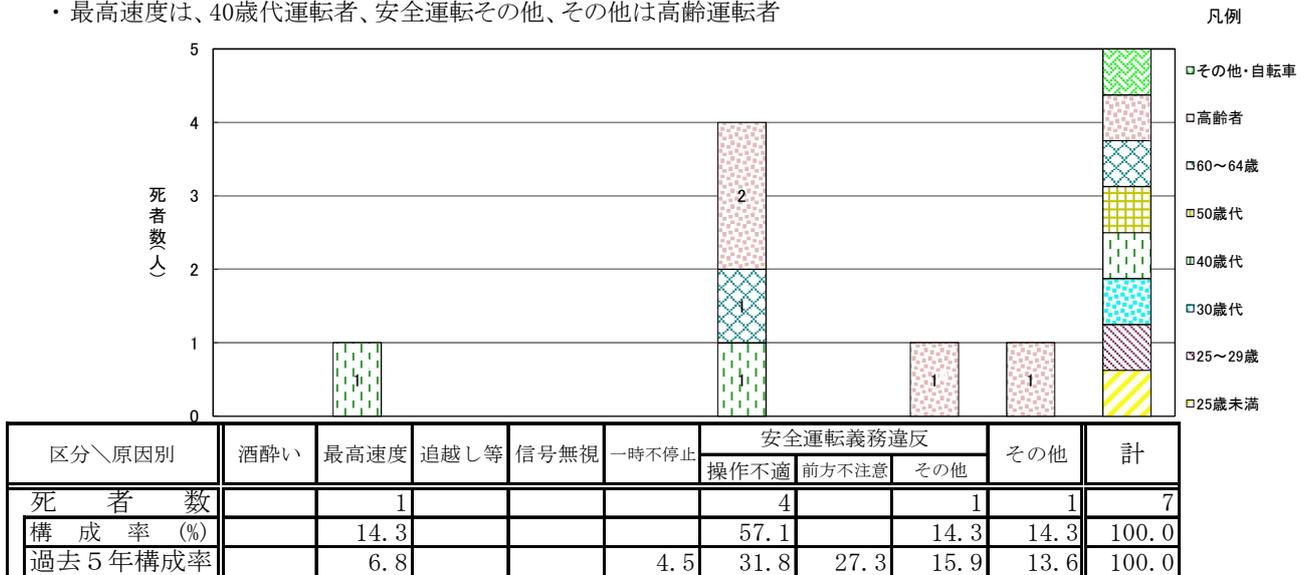
- ・ 高齢者運転者は、正面衝突が2名(66.7%)、人対車両が1名(33.3%)
- ・ 40歳代運転者は、正面衝突、車両単独が各々1人(50.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

操作不適によるものが4人(57.1%)、最高速度、安全運転その他、その他が各々1人(14.3%)

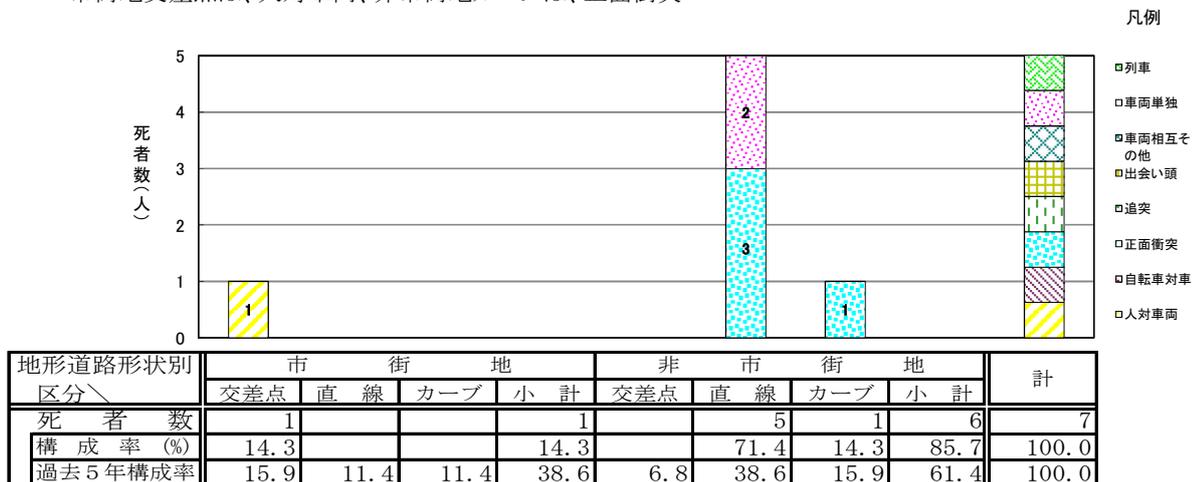
- ・ 操作不適は、高齢運転者が2人(50.0%)、40歳代運転者、60~64歳運転者が各々1人(25.0%)
- ・ 最高速度は、40歳代運転者、安全運転その他、その他は高齢運転者



(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が5人(71.4%)で、市街地交差点、非市街地カーブが各々1人(14.3%)。

- ・ 市街地直線は、正面衝突が3人(60.0%)
- ・ 市街地交差点は、人対車両、非市街地カーブは、正面衝突

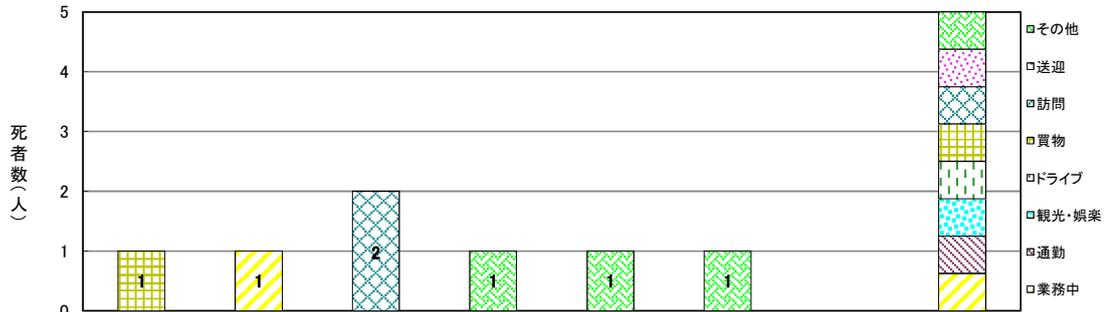


(7) 曜日別

火曜日が2人(28.6%)で、他は、土曜日を除く各曜日が各々1人(14.3%)となっている。

- ・ 火曜日は、訪問目的が2人(100.0%)
- ・ 日曜日は買物、月曜日は業務中、水曜日、木曜日、金曜日は私用その他が各々1人

凡例



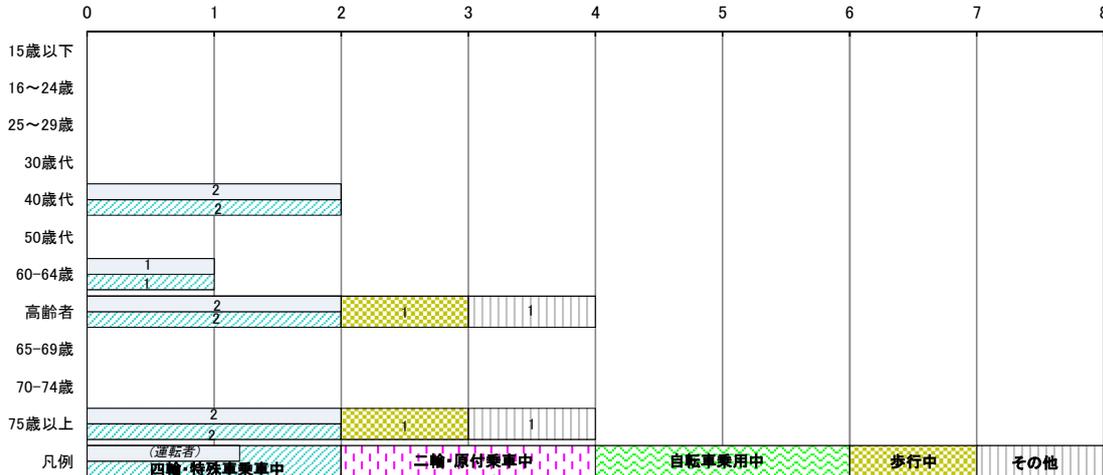
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	1	1	2	1	1	1		7
構成率(%)	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3		100.0
過去5年構成率	6.8	9.1	15.9	11.4	18.2	20.5	18.2	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が5人(71.4%)で最も多く、歩行中とその他が各々1人(14.3%)となっている。

- ・ 四輪乗車中は、高齢運転者、40歳代運転者が各々2人(40.0%)
- ・ 歩行中とその他は高齢者が各々1人
- ・ 年齢層別では、高齢者が4人(57.1%)で、うち75歳以上が4人(100.0%)となっている。

死者数(人)



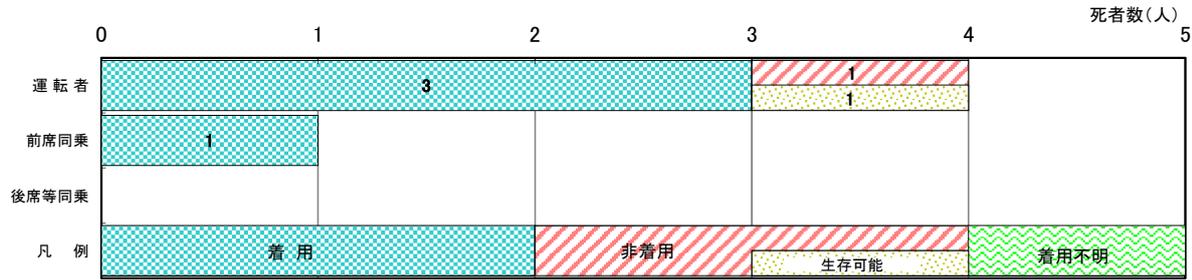
状態別 年齢層別\		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	計	構 成 率	5年構成率
15歳以下	死者数								
16~24歳	死者数								15.9
25~29歳	死者数								2.3
30歳代	死者数								6.8
40歳代	死者数	2					2	28.6	4.5
50歳代	死者数								20.5
60~64歳	死者数	1					1	14.3	4.5
高齢者	死者数	2			1	1	4	57.1	45.5
65~69歳	死者数								4.5
70~74歳	死者数								4.5
75歳以上	死者数	2			1	1	4	57.1	36.4
計	死者数	5			1	1	7	100.0	
	構成率	71.4			14.3	14.3	100.0	—	—
	過去5年構成率	72.7		2.3	25.0		100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者4人中、シートベルト非着用者は1人(25.0%)となっている。  
非着用者1人(運転席)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用			非着用			着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	
令和4年	5	4	3	1	1	1		
構成率(%)	100.0	80.0	75.0	25.0	20.0	100.0	100.0	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、40歳代が1人(100.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	65~69歳	70~74歳	75歳以上	その他・不明	計
ベルト着用				1		1	2			2		4
構成率(%)				25.0		25.0	50.0			50.0		100.0
ベルト非着用				1								1
構成率(%)				100.0								100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者1人の人身損傷加害部位をみると、「その他」となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ベルト着用	1								2	1		4
構成率(%)	25.0								50.0	25.0		100.0
ベルト非着用											1	1
構成率(%)											100.0	100.0
運転者											1	1
構成率(%)											100.0	100.0
同乗者												
構成率(%)												

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。  
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和2年度及び3年度(ここでは令和2年11月~令和4年1月)の発生は次のとおり。

年度区分		死者数					計
		11月	12月	1月	2月	3月	
令和3年度	死亡事故	15	10	7			32
	冬型事故	1	6	4			11
	スリップ	1	5	4			10
	視界不良						
	わだち		1				1
	その他						
令和2年度	死亡事故	11	18	8	8	8	53
	冬型事故	1	5	2	1	1	10
	スリップ	1	5	1			8
	視界不良				1	1	2
	わだち						
	その他						